

令和5年度
3歳未満児保育サービス
向上支援研修会報告書

(保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】分野)

岡 山 県

(協力：日本保育協会岡山県支部)

令和5年度3歳未満児保育サービス向上支援研修会
(保育士等キャリアアップ研修会「乳児保育」分野)

【研修期間】 令和5年10月24日(火)、25日(水)、11月7日(火)、8日(水)

【研修会場】 きらめきプラザ、保育所実習園

【研修目的】

乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付けるとともに、乳児保育の実施に必要な知識及び技術に関する情報交換の機会を提供する。

【主催】 岡山県(協力：社会福祉法人日本保育協会岡山県支部)

【対象】

県内の認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内認定保育事業所に勤務している保育士・保育教諭(園長、主任保育士を除く)、看護師、調理員等で、経験年数概ね3年～15年程度の者

【参加者】 36名

【研修日程】 別紙のとおり

.....

【本研修の流れ】

事前課題(問1～3)により、受講者自身が日頃の保育の振り返りをした上で研修に参加。初日のグループワーク、4日目のグループワーク、まとめの時間を使い、本研修で学んだこと、今後取り組みたいこと等について、受講者自身が記録(問4、5)を行った。

グループワークは、いろいろな市町村の参加者と情報交換、意見共有できるよう、市町村、公立園、私立園混合とし、3～4名1組で実施した。

(参加者のうち、5名分を抜粋し掲載。)

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会 研修プログラム

(本研修は、保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】分野を兼ねています。)

【対象者】

★経験年数概ね3年以上15年未満の方…科目①～⑧(全科目)受講

9時 30分	10時	12時	13時	15時	16時	研修会場
10/24 (火)	開 講 式	科目①【グループ学習:2時間】	昼 食	科目②【講義:3時間】		きらめきプラザ 4階 401会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
		(例)各園での状況や特色を伝え合い、乳児保育の課題を明確にするとともに、乳児保育の実践例の討議を通して、乳児保育に関する実践力を身に付ける。		乳児保育における 安全な環境と保育者の関わり		
		岡山県立大学 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長)		中国短期大学 名誉教授 原田 真澄 氏		
10/25 (水)	科目③【保育所実習:2.5時間】		昼 食	科目④【グループ学習:2時間】		実習園① 【公立】岡山市中山認定こども園 岡山市北区一宮638-3 実習園② 【私立】グリーン長利こども園 岡山市中区長利274-1 実習園③ 【公立】大内保育園 倉敷市大内1048-1 実習園④ 【私立】三宝認定こども園 倉敷市児島味野城2-1-5
11/7 (火)	科目⑤【講義:2.5時間】		昼 食	科目⑥【講義:3時間】		きらめきプラザ 7階 705会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
	乳児保育の意義と乳児の発達を支える保育者の関わり			乳児の栄養管理		
	山陽学園短期大学 名誉教授 村中 由紀子 氏			岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 久保田 恵 氏		
11/8 (水)	科目⑦【講義:2.5時間】		昼 食	科目⑧【グループ学習とまとめ:3時間】		開 講 式 きらめきプラザ 7階 705会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
	乳児の発達に応じた保育内容 乳児保育の指導計画、記録及び評価			グループ学習	まとめ	
	岡山県立大学 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長)			岡山県立大学 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長)		
9時 30分	10時	12時	13時	15時	16時	研修会場

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・ 3歳未満用園庭や遊具があり、のびのびと遊ぶことができる。また自然が多くあり、四季折々の草花や虫などに触れることができる。
- ・ 各クラスの部屋の他に絵本の部屋があり、絵本を読んだり大型積み木などで遊んだりできる空間がある。
- ・ 0歳児クラスにはテラスがあり、まだ歩行が難しい子も日光浴ができるようになっている。

【保育内容】

- ・ 広い園庭内に、自然を生かして家庭菜園（芋・ナス・ピーマンなど）もしており、収穫祭や芋ほりなど身近に食材を実際に見たり触れたりする機会を作っている。
- ・ クラスでの活動もあるが、戸外や室内でも3歳未満児と一緒に遊ぶなど交流をしている。
- ・ 3歳以上児と部屋が離れてはいるが、「ハッピータイム」と名付けた交流の時間を作り、一緒に体操やふれあいをして楽しんでいる。
- ・ 今年度2歳児では、足が弱く、転倒しやすい子が数人いるため、リトミックを導入し、楽しくバランス感覚やリズム感をつけるように取り組んでいる。

【関わり】

- ・ 生活面ではゆるやかな担当制を導入し、担当の職員と一緒にすることで安心して取り組めるようにしている。
- ・ 0歳児では、個々のかかわりを大切にし、わらべうたなどふれあいあそびを積極的に取り入れている。

【家庭との連携】

- ・ 送迎時や連絡帳などで園での様子を伝え、また家庭での様子も聞きながら、保護者の思いや心配事などを受け止め、一緒に関わり方を考えていくようにしている。
- ・ 参観日やオープンデーなどで日ごろの様子を見てもらう機会を作っている。
- ・ また年に3回懇談があり（2回は希望懇談）、子どもの様子を伝えあったり、保護者の質問や疑問、心配事について話したりする機会を設けている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・元々保育園だった園舎をこども園の3歳未満児のクラスとして使用している。そのため幼児が使っていた部屋を乳児が使っているため、仕切りがなく、食事と午睡の場所などの区別ができず、過ごしづらい。鍵等も子どもの手の届きやすいところにあり、子どもがドアを開けたり開けて手を挟んだりなどのケガも起こりやすい。

【関わり・家庭との連携】

- ・友達と関わる中で、噛みつきや叩く、引っかくなどのトラブルがある。それによる怪我などがあつた場合の保護者への伝え方や対応で、様子を伝えても納得してもらえないなど難しい部分がある。

【家庭との連携】

- ・トイレトレーニングや食事のマナーについてなど、家庭では取り組まず、園でできるようになるよう保護者から求められることが多くある。

【関わり】

- ・年々個別の関りが必要な子が増えているように感じる。現段階の保育者の配置人数では、子どもにゆっくりと関わりすることができず、流れ作業に活動がなってしまうこともある。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・ 子供が主体的に遊べる環境づくりについて
仕切りや玩具の置き方、見せ方など、日々子どもの様子に合わせて置き方など工夫しているがうまくいかないこともあり、学んでみたい。

【環境・関わり・家庭との連携】

- ・ 友達との関りのなかで、噛みつきや叩く、引っかくなどのトラブルがある。特に噛みつきがあると保護者も気にするため、トラブルになりそうな子と遊ぶスペースを離したり、保育者がそばについてすぐに対応できるようにするなど工夫はしているが、そのほかにどんなことを気を付けたり工夫したりしたらいいのか知りたい。

【保育内容】

- ・ 年齢が低いとできることも限られてくるので保育内容もマンネリ化する部分もあるので、他の園でしている遊びや歌、手遊びなども知りたい。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- ・環境や園の取組（おはよう、おはなす、おはなす（保護者対応、遊びの環境設定、職員感の連携など））は同じであった。
- ・UPのやみ相対制を導入しているが、生活面をとりわけ、個人に合わせて援助しているかの内容を詳しくとらえ、別の園で確認したい。
- ・書類では、同じものもあるが、異なり様式も多くあり、工夫している点や記入しづらい点などを一緒に考えてほしい。
- ・肯定的に対応する（保育者に対して）グループワークでは、自分とは異なるやり方や声かけを詳しく聞くこと、また、子どもたちの立場にたって声をかけようとする。この声かけは「おはなす」として、その声かけは「おはなす」として、実際に体験することで学ぶことができた。

【今後自園で取り組みたいこと】

- ・UPのやみ相対制（おはなす）は、園事では女子と男子とで場別で女子と男子とを区別し、安心な子どもとトイ（おはなす）は、子どもたちの様子に合わせて対応していくやり方を試してみたい。
- ・書類の見直しや記入の工夫のほか、他の園の実施しているものをとらえて見てほしい。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

- ・他の園の先生と話し合う機会にはあつたので、様子と関係性、やり方や遊びの工夫と学びたいところ、また、自分の思い、子どもたちも同じように思っていること、また、安心な子どもたちもあつた。経験年数も異なるので、若い先生の本音の意見も聞きたいと思う。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- 一番印象に残っているのは、0~2歳児は1個の発達にこだわりの多いと聞いていたこと。でも3人園でも取り組んでいるところがあり、排他や食事、午睡など、2歳児では3歳児クラスに向けて、集団で行っている部分もあってのこと。もっとも、とりと一人一々の生活に合わせよう、取り組むところは大切だと感じました。また他の園でも実施しているの、様子を見て伝えよう、職員にも良い伝え方ややりかたを思いました。
- 現代と昔の違いを具体的に話していただいたので、どうして子どもたちのかわりが年々難しくなっているのか、納得でき、その子に合った愛着関係を深めるためのかわりや工夫していただきたいと思いました。信頼できる先生との出会い、子どもは我慢できず、排他や集団行動が苦手な子ども、または友達に悪戯する子ども、取っつかない子どもという話を聞きました。だから、自分のかわり→子どもたちのかわり→かわり、よく聞いてほしい。大事に接して大変なこと、子どもたちのかわりや自身も楽しめよう、これからは一人一々のケアをして保育したいと思えました。
- 牛乳の仕方、鼻水をとる後のティッシュの処理が、私は甘やかさず返答し、きつくと牛乳をハケで拭いていました。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 気になる子（発達障害があると思われる）へのかわり、**木**の子は怒らな、環境は悪くない、行動の育成をして、学習させてあげよう。
- 若く年齢が低くから手紙を書くのはよく、発達を見取り組んでいく。
- 表象機能の発達のための沢山の子どもに興味をもてる遊びを取り入れていく。可成り声を出して遊ぶ、子どもの様子を見て、見守りをして大切にしていく。
- 7歳の子どもの自分で準備したり、片付けたりできる環境をつくる。自由遊びの間にトイレ、おやつの準備を子どもに、取り入れていきたい。
- 牛乳の仕方、ティッシュの処理の仕方は**園**全体に伝えて取り組ませたい。
- 小児の救急処置は実際には人がいって使ったこと、よく覚えておいて、笑顔を笑顔にすればいいと伝えて、子どもにしたい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- 様々な分野とこの4日間を学ぶことができてとても貴重な時間だった。グループワークで意見交換をしたことも、とてもよかった。時間もとても（楽しい）だった。保育者同士の交流もとてもいいので、よくしたい。
- 受けとって受けられない先生がいるのが残念なので、回数を増やして希望の人教と工夫をあげて（したい）と思いました。私は受け取ってよかった。

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

*環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

子どもが何かできたときなど、「すごいね」「上手だね」と褒めるのではなく「たくさん色を使って描いたね」「この部分がおもしろいね」など具体的に褒めていくように心がけている。「すごいね」「上手だね」という言葉は抽象的で何を褒められているのかが伝わりにくいと考え、意識するようにしている。

担当制保育をしている。食事、排泄など決まった保育士が丁寧にみていく日々の積み重ねで、担当保育士が一人一人の小さな変化や成長に気づき、それにより適切な援助や関わりができると考え実践している。また担当で関わることでより保育士と子どもとの間の信頼関係もできている。保護者とも情報共有し、一緒に成長を喜んだり、悩みを共有したりしている。保育士間でも情報共有できるよう話し、担当でないから分からないということがおこらないよう連携をとっている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

3歳未満児の担仕は複数で担仕するが、それぞれの保育士にそれぞれの保育観があり、保育に正解が無いからこそ、考え方のすり合わせが難しく感じたことがあった。

担当制で保育をし、1人1人の成長や変化など細かい部分まで見ていける部分はあるが、担当でない子の保護者の方にその子の細かい部分を聞かれたとき、日々保育士間で1人1人の子のことを共通理解を密にしていなければ難しいと感じる。

月齢差の出やすい3歳未満児保育の中で1人1人が安全に、そして遊びを保障できる環境作りを実践するときに悩むことが多い。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

まず1つ目は“1人1人の子どもが安心かつ安全に過ごせる環境の中で、主体的に遊び、日々うきうきわくわく楽しめる保育”に近づけるための知識や視点を深めていきたいと思っています。そのための環境作りのポイントや保育のすすめ方、関わりなど学んでいきたいです。

次に、今までの自分の中の保育の視点とは違う視点を見つけたいです。様々な方面から子どもをみたり探ったりする力をつけていきたいです。ただ子どもをみるということだけではなく、子どもの思いや心の成長など目に見えない所にも気づき、それを察知してどのような関わりが求められるのか、大切であるのかを学び、自分自身の保育に活かしたいです。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- 科目①・自分の園で悩んだり、難しく感じたりしている所が他の園でも共通する所が多くあり、3歳未満児保育についての難しさや取り組みなど共有することができた。
- ・同じ年齢の子どもたちを保育しているが園の環境（人的にも物的にも）は様々で考え方も様々であることも再認識した。
- 科目②・家庭との連携を取るために、園の様子を一方向的に伝えるのではなく、家での様子も聞いて一緒に考えていく姿勢をもつことが大切であると学んだ。
- ・責める言い方をしたり、否定したり、園や保育士の困り感を伝える伝え方ではなく、その子によりそつためのヒントを「お母さん教えてください」という姿勢で伝えていくことも大切であると学んだ。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 科目①・気になる子の家庭への伝え方が難しいという話をグループワークの中で話し、園での姿を伝えるだけではなく「家ではどうですか。」「そのときお母さんはどうされているんですか」と家の様子をたくさん聞き、深めていながら、お母さんへの悩み感やこまり感を共有したり共感したりして寄り添うようにしているという話を聞き、取り組みたいと感じた。
- ・園外保育を週2日行っている園があり、園外での子どもの気づきや成長もたくさんあるだろうと感じた。もう少し機会を多くもらいたい。

- 科目②・自園でスキップの一環として子のおでこをたたいたり、けったりするある保護者がいて、どういう声かけをしたらよいかGWで話をして「お母さん元気だね、私にもやってみて」と子どもから保育者の方へ気持ちを向けてみるというアドバイスをいただき、実践したいと思った。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

- 科目①・自分と同じ悩みや難しさを感じている先生がいたり、自分とは違うやり方で保育したり環境設定をされていたりする先生がいたり、同じ所や違う所それぞれを共有することができて良かった。

- 科目②・家庭との連携は不可欠なことであるが、連携が難しいこともたくさんあり、伝え方について悩んでいたが、GWでこんな伝え方はどうか、こう伝えたらうまくいった、など情報交換ができ、自分の中の引き出しが増え、良い学びの時間になった。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

科目②で実際に人形を使って子どもが窒息したときの処置の仕方を実践したり、練習用のエビペンを使ってエビペンで刺す練習をして、本当に自分の保育現場で、そういう事態が起こったら怖いとは思いますが、今回の練習で以前の私よりは自信をもって助けようと動けるようになったと思います。

科目③④で他園を見学させていただき刺激をとっても受けました。自分の園が担当制の保育をしているので一斉保育を見せていただき驚くことが多かったです。子どものできる所は自分でできるようにというのを大切に保育されていて子どもたちが自分でイスを運び並べたり、配膳したりする姿を見て、子どもの可能性を信じて伸ばしてあげる姿勢がすてきだと感じました。また集団ゲームを0歳児から取り入れられていて、乳児でもできる集団ゲームを複数教えていただき、保育の幅が広がりました。

科目⑦-1で様々な事例を取り上げ話を聞き、子どもが事物として遊んでいるときに声かけをしない、見守るという手だてが大切ということを学び、自分が必要のない声かけをしていないか改めて振り返るきっかけをいただきました。

【今後自園で取り組みたいこと】

他のこども園を見学させていただいたときに、乳児でもできる集団ゲームをいくつか教えていただいたので、自園でも取り組んでいきたいと思います。

科目⑤での保護者支援の話で今の保護者の方の背景など知ることによって保護者の方を理解していく一歩となったように感じます。子どもの姿を伝えていく際、子どもの育ちの見通しや子どもを生かす接し方をわかりやすく伝えていくことが大切であることを教えていただき、そういう伝え方ができるよう日々保護者の方と話をしていきたい、力をつけていきたいと思います。

離乳食で困られている保護者の方がおられたら、今回学んだことを活かしながら、一緒に考えていきたいと思います。

子どもが遊んでいる姿をしっかりと観察して、子どもが何を考えているのか見極めてタイミングよく声をかけていくという力を保育をしながら身につけていきたいと思います。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

科目⑤で乳児期が大切な時期であることを改めて学び、そんな大切な時期に自分が子どもと関わっていくという事実プレッシャーを感じていましたが、先生が「パートな保育者でなくていい。ほどほどの先生が良い先生」とおっしゃられていて、それがとても心に残りました。完璧な先生にはなれないけれど、ならなければいけないと思っていた気持ちが楽になりました。ここぞというときには来てくれる先生、深いふところをもった先生、子どもの安全基地の存在になれるような、ほど良い先生を目指していきたいです。

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

(環境)

- ・山間部にある小規模園
- ・1・2歳児混合クラス（途中入園児がおり実質は3学年）保育士2名
- ・乳児用のテラス等はなく、広い園庭がある。

(保育内容)

- ・昨年度、戸外遊びや園外保育が少なかった反省より、自然豊かな地域性を活かし戸外遊びや自然を多く取り入れた保育目標を立て取り組んでいる。
- ・子どもが身近な自然に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心が持てるように、環境構成や保育者の働きかけを工夫している。
- ・特に戸外遊びを多く取り入れ、のびのびと体を動かして遊べるようにしている。
- ・室内では、コーナーで分けることで遊びを選べたり、月齢に分けて活動ができたりするように工夫している。
- ・季節や子ども達の興味に合わせた、手作り玩具を準備するように努めている。

(関わり)

- ・2歳児のすることを1歳児が興味を持って見たり真似たりしているので、2歳児を中心に保育を行い、良い姿を見本にしたり、2歳児の活躍の場をつくるようにしている。
- ・歩き出したばかりの1歳児が遊ぶ時も、食べる時も保育士が一人傍につくようにしている。
- ・9月頃より唐突に噛みつきをする子どもがおり、トラブルが多発しているため、保育者が連携を取りながら目を離さないように保育している。
- ・母親の妊娠や出産で、情緒不安定な子どもや言葉の遅れで思いが言葉にならず、泣いたり動かなかったり表情やしぐさで訴えることもある。一人一人の気持ちに寄り添うことや保育者が思いを言葉で代弁して表現するよう関わっている。

(家庭との連携)

- ・ノートでのやり取りや送迎時の会話で、子どもの様子を伝えたり家での様子を聞いたりしている。(遊びの様子・トイレトレーニングの様子・箸への移行や食事の様子等)

(他職種との協働・計画や記録など)

- ・管理栄養士による、身長・体重の発育管理。
- ・気になる子どもに対し、保健師を通して健やか相談の勧めを行う。必要に応じて親子教室や市の発育センターによるグループ療育教室につないでいる。
- ・発育センターの先生と保健師による保育見学や情報交換、発達検査結果の共有を行っている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

(環境)

・ 戸外遊びの環境設定について

一人一人の子どもの興味に基づいた環境準備の難しさを感じている。特に、戸外遊びをする時は、砂場遊びを中心に、三輪車やボール遊びなどになってしまう。今は、ドングリ転がし遊びのコーナーを準備しているが、一定時間遊ぶと他の遊びに興味が移る。体もしっかり動かして遊んで欲しいが、2人の保育士で安全に遊べるようにするには、どのように環境準備をしていけばよいのか悩んでいる。他の園での、環境準備等を教えて欲しい。

(保育内容)

・ 8:30~9:30のおやつまでの朝の遊びについて

朝の荷物の整理や子どものノートの確認、登園してきた子どもの対応に、おやつ机や椅子の出し入れ、職員の休憩時間など2人の保育士で保育する中で、1人が取り掛かると、1人での保育になってしまい短い時間でも朝の遊びの時間の充実の難しさを感じる。

・ 園外保育について

歩き始めた園児1名は避難車に乗るのは難しい。1歳児3名と2歳児7名は誘導ロープを使うが、その中の数名は周りのことに気が向くと手を放す心配がある。1歳児は、まだあまり距離を歩くのは難しさがある。自然を感じられる園外保育を取り入れたいが、なかなか取り入れることができていない。どのように考えて準備をしていけばよいか悩んでいる。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

(環境)

- ・他園の戸外遊びの環境設定は、季節ごとにどのようにしているのかを知りたい。
- ・手作り玩具など、年齢に応じてどのようなものを作っているのかを知りたい。
- ・3歳未満児の遊びの環境づくりのポイント。どんなことを大切に考えるようにすると、子どもの興味にあった環境設定になるのかを学びたい。

(保育内容)

- ・保育体制の取り方について
クラス2名の保育士で保育をしているが、主と副の連携の取り方を他園ではどのようにしているのかを詳しく知りたい。自分のクラスでは正職員と会計年度職員の組み合わせで、主と副の交代はしていない。どの子へもかかわりができるように、柔軟に連携をとっているつもりだが、他園では、どのような配慮をしながら主や副の役割を行っているかを学びたい。

(家庭との連携)

- ・日頃の子どもの活動の様子や体調・排便・食欲など詳細に伝えるようにしているが、問題行動については伝えにくさを感じる。不安や不信感につながらないよう、保護者と一緒に育ちを見守られるような伝え方はどのようにしたら良いかを学びたい。

(保育計画について)

- ・今年度、初めて3歳未満児用の月案を立てていて、書き方に不安も感じ、文章的にも問題がある。基本的なところから学び直したいと思う。

4. グループワークを終えて (具体的にご記入ください)

グループテーマ: _____

【気付いた点・学んだ点】

- ・ゆるやかな担当制をとりながら保育をしている園もあり、良きや難かしがあらはに知られた。
- ・遊いの環境づくりの難かしや子どもへの関わりについて同じお話しを聞いているところがあった。
- ・今の保育体制の難かしを感じているが、やはり、1,2歳児 混合保育の大切さを共感してもらえた。
- ・部屋の使用や園庭の使用、他のクラスとの連携も考え工夫しているところがあった。
- ・月案・週案・日案等の事務業務も園により取り組み方がずいぶん違うところがあった。より増えているところの量の減少も必要の園もある。アプリを使い、簡単にどこでもいっしょに作成できる園もあった。必要の物を修正して作ることもまた1つの手立てとして有効なこともあった。

【今後自園で取り組みたいこと】

- ・月齢や年齢等を別けて遊ぶ保育の大切さを感じてもらい取り入れていきたい。
- ・してあげる保育ではなく、子どもは自分で遊ぶような保育にしていきたい。今、自分かしている保育を見直していきたい。
- ・保護者対応で、今のお母さんたちの現状を理解し、より近づいてあげたいと思つた。また、担任だけでなく、チームワークで、お互いに関わりあう園内での話し合いを取り組むことも思う。
- ・他園での保育の取り組みや、指導案等の事務についての現状も知らせ自分達も働きやすい。よりよい保育にするよう取り入れられる部分を話し合っていきたい。

【その他 (グループワークの感想等自由にご記入ください)】

- ・他の園の先生の話や聞く機会がなかったので、話ができることで情報が増え参考になりました。
- ・各役について話し合いをする時に子ども役をいろいろと持ち出し、より近づける言葉で話していると思った。やはり気持ちよくとらえて、よりよい、大切なんだと改めて感じた。保護者にも子どもにもよりよい保育者になるように思う。
- ・グループワークを園定していたら、話しやすかった。また、他の先生と話し合う機会を増やせるように、1日目と4日目のグループワークから始めて良かったと思う。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- ・基本的な保育所の役割や保育者の専門性について改めて学ぶことができた。
また、現在の子育て家庭や母親の現状を知り、保育者がよりよい助けが必要だと改めてわかった。
- ・乳児に関わる者として、感染症に対する考え方や手洗いの大切さ、自分の手洗いをくせもわり、衛生管理に役立てたい。
- ・窒息時の対応やエビソンの使い方は実践することができ、とてもわかりやすく学んだ。
- ・公開保育では、心と動いた環境に子どもが夢中になる姿を見ることができ、環境準備の大切さを改めて学び、自分も努力していきなりたいと思った。
- ・3歳未満児の発達かどわほど大事な、将来に関わることでも学んだ。
発着行動の大切さを知り、保護者としっかり共有していきたい。
- ・離乳食や幼児食には、発達段階によって教え方の違い、子どもの個性を増やしていくことや食べることに意欲を育てる大切さを学んだ。
- ・乳幼児期の遊びの発達を改めて学び、自分達は何を求めているか、何を求めているか、しっかり

【今後自園で取り組みたいこと】見まわめ、説明できる状況にすることが大切だと思った。

- ・4日間のこの研修の内容をまずは園の先生にも伝えたい。詳しく復命したい。
日頃の忙しい中、いろいろなことをしていることがたくさんあるか。子どもに関わりや読みや指導案について、環境準備についても、しっかり話し合い、よりよい保育につなげていく必要があると感じた。話し合いを大切に、チームワークを自分からも作っていきよう努めたいと思った。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- ・3歳未満児の保育の大切さを改めて学んだ。たくさん知ることができた研修だった。GWもあり、公開保育もあり、学びたいだけでなく保育をがんばりたいと思える意欲もできた研修だった。
公開保育をして下さった園の先生方、講師の先生方、準備をして下さった先生方には感謝します。ありがとうございました。

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

〈0歳児〉

- ・月齢差が大きいので(新年度当初：6か月～1歳2か月)、一人一人に合わせて生活をしている。それにもなつて、毎日の連絡ノートや送迎時に保護者と発達の様子や園での姿などを共有し、園と家庭とで連携して、成長を見守ることができるようにしている。また、食事面では、食材の形状、離乳食・ミルクの進み具合、食べ方などを保護者や給食の職員とも共通理解し、成長に合わせて提供できるようにしている。
- ・保育については、それぞれの欲求や思いを受け止めるなどの情緒面と健康面を大切にし、個々とゆったり関わる保育を心掛けている。

〈1歳児〉

- ・発達の個人差がまだ大きく、歩行でも、つたい歩き・歩き始め・走るなどそれぞれ違うので、安全に過ごすことができるように、保育室内を広くしたり、不必要な用具を置かないようにしたりなど、環境を日々整えている。また室内や戸外でも誤飲などにも注意をし、職員間で声を掛け合い、安全に過ごすことができるようにしている。
- ・遊びの面では、安心して一人一人が満足するまで好きな遊びを楽しむことができるように、十分な量の玩具を用意したり、保育者が遊び方を見せ、笑顔で一緒に遊んだりすることを意識して保育をしている。

〈2歳児〉

- ・身の回りのことを自分でしてみようという気持ちが芽生えてくる時期なので、自分でしてみようという気持ちにつながるように、生活の動線を考えたり、園児が自分でしやすいような用具(帽子入れ・靴下入れ・上靴入れなど)を用意したりする。
- ・保育者や友達と同じ遊びをしたり、やり取りをしたりしながら遊ぶ楽しさを感じることができるように、ままごとやごっこ遊び、集団遊びなどの機会を意図的に設けるようにしている。
- ・友達との関わりが増えてくるので、関わり方を知ったり、一緒に遊ぶ楽しさを感じたりすることができるように、保育者が手本となって繰り返し伝えるようにしている。

〈その他〉

- ・3歳未満全体としては、遊びについて全クラスで共通理解できるように、月に1回程度話し合いの時間を設けている。そこで小園庭での遊びをどうしていくか、その月にある行事はどんなことをするかなどを話し合っている。戸外遊びでは、各年齢で取り入れたい遊びを共有し、他の職員の意見を聞いたり、協力して環境の準備をしたりしている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

- ・ 3未は複数担任になるので、それぞれの保育観があり、子どもに対して何をねらうか、どこまでをねらうかが違ってくるので、そこを共通理解することが難しい。
- ・ 一人一人の日々の成長を記録するため、一年を通して個人記録に追われている。
- ・ 保護者に発達や子育てについてのアドバイスなどをするが、保育者の思いがなかなか伝わらず、共通理解をすることが難しい。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

- ・遊びのバリエーションを増やしたい(室内遊び・戸外遊び)。
- ・手遊びや出し物などのバリエーションを増やしたい。
- ・生活の動線や準備している用具などの工夫を知りたい。
- ・支援が必要な子どもへの3未のときからできる手立てを知りたい。
(動きが激しい・気持ちの切り替えが難しい・遊びに興味をもちにくい など)
- ・他園がどんな書類の書き方をしているか知りたい。

4. グループワークを終えて (具体的にご記入ください)

グループテーマ: _____

【気付いた点・学んだ点】

10/24(木)

- 連絡帳アプリを導入している園があり、ICT化が進んでいるんだなと思っ、保育者の負担軽減になり、取り入れられるものがあるらしい。
- 看護師が常駐している園は子どもの日本語環境にも対応して安心相談でき、保護者を安心させると思う。
- 園庭を伸び伸び使っているが、3~5歳児との兼ね合いもあるので、難しい園が多かった。遊具注釈等は工夫して、毎歳員間で共通理解してゆけば考えようが必要。
- 課題としては、生活の仕方、遊びの工夫、個性のある子どもへの対応、昇進昇格の人間関係など、それぞれの園で共通しているところがあった。

11/8(水)

- それぞれの園で書かれている指導案・記録を見せてもらい、様々な書き方があることを知り、働き方改革や書類の簡素化で園内で検討し、柔軟に対応できるように感じ。
- 保護者対応では、悩みを共有し、他園はどうしているか、アドバイスなど話し合うことができて。

【今後自園で取り組みたいこと】

10/24(木)

- 子どもが自分で選べる遊びを選択することができるように、コーナー分けするのは免り強になり、設定から取り入れ、子どもたちが自分で選べるように環境を整えていきたい。
- 食育に力を入れている園の話を聞き、食は一食のことなので、小さい時から興味につなげていく、育てていくことは大切だと感じ。3歳から...と先送りするのはなく、教員も触れたい活動を取り入れていきたい。
- 0歳の時から継続的に音楽や楽器に触れて遊ぶ機会を設ける。

11/8(水)

- 書類では、他園のやり方や書き方が参考になるものがあること、自園でも検討してみたいと思っ。
- 保護者、子どもへの対応では、ワークを通して、様々な声掛けや援助力を知ることができたので、保育の中で取り入れていきたいと思っ。

【その他 (グループワークの感想等自由にご記入ください)】

10/24(木)

- 他園の保育、工夫を聞いて、新しい発見や免り強になることが多くあり、自園のやり方だけでなく見ることができ、ほか、課題や悩みを共有することができた。

11/8(水)

- 私は異動の経験がないので、他の保育園・子ども園の書類をあまり見ることがなく、今回のグループワークで見せてもらい、園が違うといろいろな書き方があるということに一番驚いた。保育者が見やすく、書きやすいように柔軟に考えることが大切だと感じ。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- ・ 今回の研修ではグループワークが多くあり、他市の園の保育や遊びのアイデア、工夫、記録のとり方など、様々なことを知りることができて、とても勉強になりました。また、同じ年齢のクラスを受け持っている方の話を聞き、悩みを共有したり、アドバイスをもらったりして、励みになりました。この4日間を学んだことや、遊びの工夫などを今後の保育に活かしていきたいです。
- ・ 乳児保育や安全、食事面の講義を聞き、私たちの仕事の責任をあらためて感じました。今年度、欠かさず3月の担任になり、0〜2才児の保育者や園の大人との関わり的重要性について考えることが多くあり、様々なことを日々吸収し、成長する子どもたちにとって近くにいる大人の接し方や言動、遊びの展開が大切となってくるので、今後以上を配慮していきたいです。

【今後自園で取組みたいこと】

- ・ グループワークで学んだ、3月の時から自分では遊びを選びたいことができるような環境作りは取り組んでいきたい。子どもたちの主体性を大事に、やりやすい手際を大切に実行でき、自然と片付けまでできるような環境を考えていきたい。また、食育にも触れられるようにしていきたいと思ったり、小さい時から身近に栽培物があり、触れ合えるような活動を取り入れ、楽しく食についての興味をもてるようにしていきたい。
- ・ 書類の書き方や様式について、園長や他の職員と相談したいと思ったり、見やすく、書きやすい書類にして負担は減らせたかなと思ったり。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- ・ 4日間の研修に参加させていただき、学びが多くありました。他市の園の保育を聞いて、見たり実際にすることができ、自園との違い、参考になることが多くあり、今後すぐに取り入れていきたいと思ったり。また、宮川先生が言われて通り、4日間も研修に出させていただけると園長や職員の方には感謝したいと思います。ありがとうございました。

令和5年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

*環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

◎環境・保育内容

○少人数保育を行っている。

- ・本園では、0歳児9名、1歳児24名、2歳児22名が在籍しているが、クラス単位ではなく、少人数のグループで生活することで、より家庭的な雰囲気の中で生活できるよう心掛けている。
- ・グループは単に月齢順ではなく家庭の生活リズムや経験値などを踏まえた上で決定している。

○木のぬくもりを大切にした保育を行っている。

- ・感覚を確かめる行動の多い乳児の玩具は特に木製の玩具を多く取り入れ、手の平で握り込んだり、顔にすり当てたり、口元に持っていったりしても安心な物を提供している。また、発達に応じてあそび方を変え、繰り返し遊ぶことで情緒の安定を図っている。

○自分だけの人形を一人一人体持っている。

- ・安心して園生活になじんでもらえるよう職員が軍手人形を作り、保護者に古着で人形のワンピースを縫ってもらい、いつでも抱けるように一人一人のロッカーやウォールポケットにお預かりしている。

○その他

- ・ポラリエット（微酸性次亜塩素酸水生成装置）を各クラスやトイレに設置しており、手洗いや怪我の消毒、床や玩具の除菌などに活用している。
- ・半屋外のウッドデッキがある為、雨天でものびのびと体を動かして遊ぶことができる。
- ・子ども達が自由に絵本や玩具を手にとって遊ぶことができるよう、各クラスに本棚や玩具収納ラックを設置している。
- ・あそびと生活（食事や着替えなど）のスペースを分け、子どもの動線や発達に合わせて室内環境を工夫している。
- ・園庭は子どもの発達に合わせて、低年齢児が遊ぶ遊具やスペースと3歳以上児が遊ぶ遊具やスペースに分けている。
- ・アレルギーがある子どもの食べ物は、名札、食器の目印、トレーなどで分かりやすくし、配膳する時と食事前に職員間で声掛けと目視で確認し合いながら提供の間違いが無いように配慮している。
- ・食事は発達に合わせて、準備や片付けができるように工夫している。

◎関わり

- ・0歳からのひとつひとつの「学び」を大切に見守り、丁寧な関りを心掛けている。
- ・噛みついたり引っかいたりなどの行為が見られた時には、子どもの甘えたい気持ちや落ち着かない子どもの思いを受け止め、職員間で情報共有しながら声を掛け合ってみんなで見守るようにしている。

◎家庭との連携

○画像・動画配信

- ・子どものみ参加の行事などは、その行事の数日後に保護者に配信している。

○メール配信

- ・0歳児は連絡帳のやり取りの代わりに個人メールを配信し、毎日園での生活について細かく知らせている。
- ・1歳児以上は少しでも子ども達と担任保育士が関わる時間を多く取る為に以前から連絡帳は使用しておらず、その代わりに毎日送迎時に直接対話するようになってきた。現在もクラスの連絡事項や活動内容は、メール配信し、個別の様子については、送迎時に直接口頭で伝えている。
- ・運動会や保育参加などの行事後に、保護者からアンケートで意見や感想など気づいたことを教えてもらっている。

◎他職種との協働

○栄養士との連携

- ・誤食事例が起こった際には職員間で共有をし、同じことを繰り返さないように努めている。
- ・調理師と情報交換をして、離乳食の進み具合を一人ひとりに合わせた食事内容にしている。

◎計画や記録

- ・子ども達の普段のあそびの様子やあそびの中で育ってきていることを写真に撮り、ドキュメンテーションとして掲示している。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

*環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

○環境

- ・1、2歳児クラスは子どもが興味のある物を手に取って遊べるような環境設定にしている為、玩具や絵本を出して床に散乱させる。使っていない玩具をこまめに片付けたり、次のあそびに移る時には片付けるように声掛けをしたりするが、出しっぱなしになることが多い。置いておく玩具の数を適度に制限しながらも色々な遊びができるようにしているが、調節が難しいと感じることがある。
- ・0、1歳児は身体能力が発達し、クラス内の棚や本棚に登る姿が見られる。登ってはいけないことを繰り返し伝えたり、室内で台やマットを使い登って遊べる環境を整えるなど工夫をしているが、低年齢児などは登りたがる。
- ・天気の良い日には、園庭に出て遊ぶことが多いが、あそびが分散してしまい、事故のリスクにもつながる為、どうしても固定遊具と砂場で遊ぶことが多くなってしまう。子ども達は保育者と関わりながら伸び伸びと遊んでほしいが、乳児の戸外あそびのレパートリーを増やしたい。

○関わり

- ・1、2歳児は他児との関わりが増えると共に、物や場所の取り合いなどでトラブルになることが多く、引っかきや噛みつきなどの怪我へつながることがある。職員間で様子を伝えあったり、すぐに対応できるように側へ着いたりなどの対応をするが、防ぎきれないこともある。また、トラブルになりやすい子どもへの対応ばかりを気にしていると、他児への関わりや配慮などが不十分になってしまい難しいと感じる。
- ・複数担任のクラスは職員間の連携が大切になってくると思うが、勤務時間がそれぞれ違う為、話し合う時間が持ちにくい。現在は、午前パートの職員が退勤する少し前に話し合いをするようにしているが、十分にできにくい。

○保育内容

- ・年齢に合った玩具（既製品・手作り）を色々を用意しているが、3歳未満児は室内で過ごすことが多い為、毎日遊んでいるうちにあそびに飽きてしまったり、物足りなくなつて長続きしなくなってしまうりする。レパートリーを増やす為、物を増やすと、限られたスペースでの整理整頓が難しくなったり、手作りの物は職員に負担がかかってしまったりする。

○家庭との連携

- ・子どもに怪我がないように環境や職員の配置などを考えているが、子ども同士のトラブルなどで防ぎきれなかったりする時もある。低年齢で起こりやすい怪我についての保護者の理解が薄かったり、怪我が続いてしまったりなどした時などの保護者対応に悩むと共に、絶対に怪我をさせないようにと常に緊張感を持つようになってしまう。

○計画や記録

- ・できるだけ勤務時間内で書類作成をするようにしているが、子ども達の昼寝の時間に色々な作業をする為園でできる作業時間が少なく、期限ぎりぎりになってしまったり、家に持ち帰って仕事をしたりすることがある。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

*環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

○環境

・安全面を考慮した上で、子どもの主体性を大切にした各年齢に合う環境構成を学びたい。

○保育内容

・あそびのレパートリーを増やしたい為、他園でどのようなあそびをしているのか知りたい。

○関わり

・噛みつき等のトラブルになりやすい子どもへの対応の仕方について学びたい。
・乳児が主体的に遊べる環境設定を学びたい。

○家庭との連携

・子どもに怪我があった時の保護者への対応の仕方を聞き、参考にしたい。

○その他

・他園の書類（月案、週案、個人指導計画等）や工夫している所などを知り、参考にしたい。
・複数担任のクラス（パートの職員がいる場合など）の場合、保育内容などの話し合いを、いつしているのか知りたい。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- ・場所や人が違っても、同じような悩みがあり、日々考えながら対応しているんだなと感じました。
- ・同じ悩みをもっている方と話し、共感しながら実践していることを伝え合っていくことで、心が少し軽くなる共に参考になりました。
- ・色んな園の特長、取組、工夫していることなどを知り、素敵だなと感じると共に今後の保育をする上での参考になりました。
- ・様々な場面で肯定的に話すというワークをして、改めて肯定的に話すということの難しさを感じました。話し合い中で“こうすればいいかな”という改善案が出てきて、いい話し合いになったと思います。

【今後自園で取り組みたいこと】

- ・今回のグループワークのように自園でも職員間でしっかりと話し合っ情報共有をしていきながら、より良い環境作りや保育につなげていきたい。
- ・子どもの気になる姿や保護者に改善してほしいことを伝えるときなどに、しっかりと“肯定的に話す”ということを意識し、保護者の思いや状況に寄り添った関わりをしていきたい。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

- ・ほかほか他園の先生と話す機会がなかったので、今回のグループワークはいいきっかけになりました。
- ・同じテーマで一緒に考えていくことで、色んな意見を聞くことができたし、自分の中での考えをまとめていくことができたし。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- ・色々な園での取り組みや書類などを知ることができ、参考にすることがたくさんあった。
- ・実際の保育現場での保育や環境を見て学ぶことができ、取り組みや関わり方などを知ることができてよかった。
- ・講義では、実際のエピソードや動画などでわかりやすい話し方だった。
- ・保育現場での悩みを話し合ったり、実践していることを教えてもらったりしたグループワークでは、同じ悩みを共感しながら改善方法を考えていくことができたのでよかった。
- ・肯定的に話す難しさを改めて感じ、グループワークで話し合っていくことで一緒に考えながら楽しく学んでいくことができた。

【今後自園で取組みたいこと】

- ・今回のグループワークで話し合ったように、自園の職員ともたくさん話し合っ、一緒に考えていきながら改善方法を見つけたい。
- ・子どもや保護者に対して、「肯定的に話す」ということを意識して関わってきたい。
- ・グループワークや保育所実習などで知ることができた「いいな」と感じた取り組みや環境設定などを参考に、実践できそうなことを取り入れていきたい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- ・見たッ聞いたッ、実践したッと、色々な方法でわかりやすく学ぶことができた。
- ・実際の保育現場の取り組みや環境を見れる機会はなかなかないので、いい経験になりました。